研修のオンライン化について

現　状　県主催の資質向上研修は、対面での集合研修を実施しており、オンライン化をしていない

課　題　①山間部のクラブ関係者は研修への参加が難しい
②新型コロナウイルスのまん延により集合研修が難しくなった
⇒ これらを背景に研修のオンライン化の必要性が増している

取　組　クラブのオンライン化に関する現状調査を行い、研修のオンライン化の具体的な課題の把握を行った。

◎現状調査　＜市町村アンケート（R3.7.1時点）より＞

○設備整備状況

設備状況				設備整備見込		
	有	無	いずれかの設備が無	有	無	回答なし
PC	207	63	171	82	83	6
Wi-Fi環境	114	156				
受講スペース	137	132				

（整備をしない理由）
・業務上、必要がない
・場所の確保が困難
・他のクラブや市役所で確保できる
・予算の確保が困難

○オンラインによる研修について

オンライン研修受講		希望研修形態			
可	否	対面	オンライン	その他	未回答
139	131	153	68	47	2

（その他の内容）
・対面とオンラインの選択式が良い
・実技系は対面を希望
・オンラインでも質疑応答があると良い
・講義形式は配信を希望（いつでも受講可能）

◎課題

①クラブのオンライン環境整備状況の差
- 研修をオンラインで受講するのに必要な設備が全て整っているのは、４割程度に留まっている。
- 設備が整っていないクラブでも５割程度は整備見込がなく、研修を完全にオンライン化するのは難しい状況が続いている。

②クラブでのオンライン研修への懸念　＜市町村アンケート（R3.7.1時点）より＞

設備面
- ポケットWi-Fiの接続の安定性
- PC本体や設備（マイク、カメラ等）の不足
- 配信動画の閲覧しかできない

環境面
- 有線接続による場所の限定
- 受講専用スペースがない
- 建物を移動しないといけない
- 学校の校内放送がある
- 一度に受講できる人数の制限

人材面
- ＰＣ操作やオンライン研修への不慣れ
- 時間の調整が難しい
- 質疑応答の温度感
- 他クラブと直接やりとりができない

（参考）クラブのオンライン化の補助
・令和2年度第三次補正予算により放課後児童クラブのICT化への補助が追加された。（ICT推進化事業）　ICT化を進めるクラブへ補助を行うもので、令和3年度も継続して補助事業となっている。
・また、備品購入等への補助を行う環境整備事業においてもICT機器の導入を補助対象として申請することができる。